



第2回 意思決定支援研修会

県北西部地域医療センター

後藤忠雄



いくつかの キーワード

- 意思決定支援と

多職種連携

- 多職種と繰り返し
- ForとWith
- 多様な価値観



その前にペーパー チェーンを思い出 してください

- 2回目が数がアップ
- 打ち解けると…
- 勝利がわかるのは…？
-日ごろのケアでも、もちろん！



ロールプレイも 思い出して みましょう

- みなさん、今から再度、先ほどの役になりきってください！
- インタビュータイム



いろいろ感じ気づかれたことと思います

- その人の歩む人生をみんなで支える
 - ケアマネ進行上手
 - 家族本人の希望の引き出し上手
 - 不安の確認
 - これからの暮らし
 - 病気も生活も
- 1つ(チーム)になる 誰のために
 - 意見相違の確認必要
 - 本人の不安その軽減方法



意思決定支援

- ガイドライン上は

—多職種で支援

—繰り返し検討



多職種連携

- 個人で支援するのは大変
 - When • What • How…?
- であれば多職種で
 - お互いが、お互いを(for)、 お互い一緒(with)に支える
- であれば学びも
 - お互いから(from)、 お互いについて(about)、 お互い一緒に(with)学ぶ



多様な価値観

- あなたのもののさしと、ご本人、ご家族、親せき、隣近所、専門職と同じ？
- それぞれ相互の物差しは同じ？



最期を迎えるために

- 自分の意志、その表明
- 家族の理解、協力、支援
- 親戚の理解、協力、支援
- 隣近所の理解、協力、支援
- 専門職の理解、協力、支援

それが相互に！



地域での看とりを支えるために

- 在宅死は望ましいことか？
 - 在宅での看とり、施設での看とり、医療機関での看とりなどいろいろな選択肢と、選択への対応
- 地域で最後まで暮らすということ
 - 資源を最大限に使うシステムと支える人の育成
 - 24時間365日を支えるために…
 - 地域住民の思い、考え、その共有、文化の形成
 - 情報共有（医療者間で、医療者住民間で、住民間で）
 - どれだけその人の地域での生活を知っているか？
 - どれだけの子どもが身近な人の死を目の当たりにしたことがあるか？
 - どれだけ家族が自身がこういった最期を持ちたいと考えているかということをお話したことがあるか？



ありがとう ございました

地域の方々を支えるために
今日ご参加の皆さんも
おたがいに
がんばりましょうーや

